

東北保健医療専門学校 2022年度
実務経験のある教員等による授業科目

学科名	理学療法科
3年間合計時間数	3130
実務経験者の3年間合計時間数	900

1年次

授業科目名	単位時間数	実務経験・専任	実務経験の内容
心理学	30		
倫理学	30		
教育学	30		
社会福祉学	30		
情報処理学	30		
工学	30		
フレッシュマンセミナー	15	○	理学療法士
キャリアデザイン	15	○	理学療法士
スポーツ学Ⅰ	30		
人間関係論	15		
コミュニケーション論Ⅰ	15		
医学英語	15	○	理学療法士
解剖学Ⅰ	30		
解剖学Ⅱ	30		
体表解剖学実習	45	○	理学療法士
生理学Ⅰ	30		
生理学Ⅱ	30		
運動学Ⅰ	30	○	理学療法士
運動学Ⅱ	30	○	理学療法士
人間発達	30		
臨床医学	30		
臨床心理学	30		
栄養学Ⅰ	15		
救急救命医学	15		
加齢・予防医学	30		
病理学	15		
リハビリテーション概論	30		
公衆衛生学	15		
理学療法概論	30	○	理学療法士
基礎理学療法学	30	○	理学療法士
理学療法学特論Ⅰ	30		
理学療法管理学Ⅰ	15	○	理学療法士
理学療法評価学Ⅰ	30		
理学療法評価学Ⅱ	45	○	理学療法士
理学療法評価学Ⅲ	30	○	理学療法士
運動療法Ⅰ	30	○	理学療法士
見学実習	40		
合計	1000		
実務経験者の合計時間数	330		

2年次

授業科目名	単位時間数	実務経験・専任	実務経験の内容
コミュニケーション論Ⅱ	15		
生理学実習	45		
運動学Ⅲ	15		
運動学実習	45		
内科学	30		
整形外科学	30		
神経内科学	30		
小児科学	15		
精神医学	30		
リハビリテーション医学	30		
栄養学Ⅱ	15		
理学療法特論Ⅱ	30	○	理学療法士
理学療法評価学Ⅳ	30	○	理学療法士
理学療法評価学Ⅴ	30	○	理学療法士
理学療法画像評価学	15	○	理学療法士
脳血管障害理学療法Ⅰ	30		
理学療法評価・臨床推論	30	○	理学療法士
運動療法Ⅱ	30	○	理学療法士
物理療法	45	○	理学療法士
義肢学	30		
装具学	30		
日常生活活動技術論	30	○	理学療法士
骨関節障害理学療法Ⅰ	30	○	理学療法士
骨関節障害理学療法Ⅱ	30	○	理学療法士
神経筋障害理学療法Ⅰ	30	○	理学療法士
神経筋障害理学療法Ⅱ	30	○	理学療法士
脳血管障害理学療法Ⅱ	30		
内部障害理学療法Ⅰ	30		
内部障害理学療法Ⅱ	30		
内部障害理学療法Ⅲ	30	○	理学療法士
運動発達障害理学療法	30		
地域理学療法学Ⅰ	15	○	理学療法士
住環境整備・福祉用具活用論	30		
臨床実習Ⅰ	200		
合計	1145		
実務経験者の合計時間数	405		

3年次

授業科目名	単位時間数	実務経験・専任	実務経験の内容
統計学	15		
スポーツ学Ⅱ	15		
コミュニケーション論Ⅲ	15		
薬理学	30		
画像診断学	15		
関連職種連携論	15	○	理学療法士
研究法	30	○	理学療法士
理学療法特論Ⅲ	30	○	理学療法士
理学療法管理学Ⅱ	15		
理学療法評価学Ⅵ	15	○	理学療法士
運動療法Ⅲ	30	○	理学療法士
骨関節障害理学療法Ⅲ	15	○	理学療法士
神経筋障害理学療法Ⅲ	15	○	理学療法士
脳血管障害理学療法Ⅲ	15	○	理学療法士
内部障害理学療法Ⅳ	30		
各種理学療法	15		
地域理学療法学Ⅱ	30		
臨床実習Ⅱ	320		
臨床実習Ⅲ	320		
合計	985		
実務経験者の合計時間数	165		

※理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則において
 理学療法士である専任教員は、免許を受けた後5年以上
 理学療法に関する業務に従事した者であること。
 専任教員は5年以上の実務経験があります。
 上記表の実務経験の内容の理学療法士は、専任教員となります。